

問1 紀元前3世紀に中国を初めて統一した秦の始皇帝が行った政策について、その内容として正しいものはどれですか。（2017年 大阪

公立入試 類似）

- 万里の長城を修築し、北方の遊牧民の侵入を防ごうとした。
- シルクロードを通じた西方との貿易を独占し、仏教を国教とした。
- 科挙の制度を整え、家柄にとらわれず優秀な人材を官吏として採用した。
- 文字や貨幣の統一を禁じ、各地の伝統的な文化や経済の自立を促した。

問2 古代文明では、政治の記録や商業のやり取り、カレンダーの作成などのために独自の文字が発明されました。文明の名称と、その拠点となった河川、および使用された文字の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2018年 高知公立入試 類似）

- エジプト文明 - ナイル川 - 象形文字（ヒエログリフ）
- メソポタミア文明 - インダス川 - 楔形文字
- インダス文明 - 黄河 - インダス文字
- 中国文明 - チグリス・ユーフラテス川 - 甲骨文字

問3 アジアに位置する二つの文明について、南アジアのインダス川流域で栄えた文明と、東アジアの黄河・長江流域で栄えた文明における、それぞれの特徴的な遺物や記述の組み合わせとして適切なものを選びなさい。（2019年 沖縄公立入試 類似）

- インダス川流域ではモヘンジョ・ダロなどの都市遺跡が、黄河・長江流域では亀の甲羅などに刻まれた甲骨文字が見られる。
- インダス川流域ではくさび形文字を記した粘土板が、黄河・長江流域ではハムラビ法典を記した石柱が見られる。
- インダス川流域ではパピルスに記された死者の書が、黄河・長江流域では青銅器を用いた仏像が見られる。
- インダス川流域では太陽暦に基づいた農事暦が、黄河・長江流域ではインダス文字を用いた印章が見られる。

問4 群馬県にある岩宿遺跡の発見は、日本史の研究において非常に重要な意味を持っています。この遺跡が発見されるきっかけとなった出来事と、それによって明らかになった当時の状況の説明として最も適切なものはどれですか。（2023年 京都公立入試 類似）

- 相沢忠洋が火山灰の地層から打製石器を発見し、更新世の日本列島に人が居住していたことが証明された。
- 大規模な水田遺構が発見され、縄文時代から本格的な稲作が始まっていたことが証明された。
- 「漢委奴国王」と刻まれた金印が発見され、当時の日本が中国の王朝と交流していたことが判明した。
- 人物や動物をかたどった埴輪が大量に出土し、強力な権力を持つ王が存在していたことが判明した。

問5 古代中国の各王朝で見られた文化や社会の様子について述べた文として、正しいものはどれか。（2024年 和歌山公立入試 類似）

- 殷の時代には、亀の甲羅や動物の骨に刻まれた甲骨文字が使われていた。
- 秦の時代には、西方との交易路であるシルクロードを通じて仏教が伝わった。
- 漢の時代には、初めて青銅器が作られ、万里の長城の建設が開始された。
- 殷の時代には、始皇帝によって度量衡や貨幣の統一が進められた。

問6 大航海時代以降、南アメリカ大陸の太平洋側に位置する多くの国々では、現在もスペイン語が公用語として使用されています。このように、特定の地域の言語や文化がヨーロッパの国家の影響を強く受けることになった歴史的な経緯として、最も適切なものはどれですか。（2023年 山形公立入試 類似）

- スペインがこの地域を植民地として支配し、自国の言語や宗教を広めたため
- イギリスがこの地域の国々と自由貿易協定を結び、英語教育を普及させたため
- ポルトガルが南アメリカ大陸の全域を占領し、ラテン系の文化を強制したため
- 地元の先住民がヨーロッパとの交流を深める中で、自発的にスペイン語を国語として採用したため

問7 秦の始皇帝が、中国の北部に「万里の長城」を築き、大規模な防壁を整備した歴史的な背景や目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 京都公立入試 類似）

- 北方の遊牧民の侵入を防ぎ、国内の安定を図るため
- 東南アジア諸国との交易を独占し、経済を活性化させるため
- 仏教を国教として保護し、巡礼者のための道を整備するため
- 国内の農民が勝手に国外へ逃亡するのを物理的に遮断するため

問8 古代アテネで直接民主政が成立・維持された背景や特徴について、現代の民主主義と比較した説明として最も適切なものを選びなさい。（2024年 山梨公立入試 類似）

- 国家の規模が小さく、市民が特定の場所に集まって直接議論することが可能だった
- 通信技術が発達していたため、遠隔地からでも市民が投票に参加できた
- 選挙によって選ばれた専門の議員が、市民の代わりに法律を制定していた
- 全ての住民が平等な権利を持っていたため、争いなく物事が決定されていた

答え合わせ・解説

問1	答え 1 万里の長城を修築し、北方の遊牧民族の侵入を防ごうとした。	始皇帝は、中国を統一した後に北方民族である匈奴（きょうど）の侵入を警戒し、それまで各地の国々が築いていた城壁をつなぎ合わせて大規模な万里の長城を修築しました。また、中央集権体制を強めるために、それまでバラバラだった文字、貨幣、度量衡（重さや長さの単位）を統一する政策を断行しました。
問2	答え 1 エジプト文明 - ナイル川 - 象形文字（ヒエログリフ）	エジプト文明は「ナイルのたまもの」と呼ばれる通り、ナイル川の定期的な増水がもたらす肥沃な土壌によって発展し、パピルスなどに記される象形文字を使用しました。メソポタミア文明はチグリス・ユーフラテス川、インダス文明はインダス川、中国文明は黄河や長江の流域でそれぞれ成立しており、河川と文明の正しい対応を把握しておくことが重要です。
問3	答え 1 インダス川流域ではモヘンジョ・ダロなどの都市遺跡が、黄河・長江流域では亀の甲羅などに刻まれた甲骨文字が見られる。	インダス文明は、計画的に整備された都市遺跡であるモヘンジョ・ダロやハラッパ、未解読のインダス文字が刻まれた印章などが特徴です。一方、中国文明（黄河文明など）では、漢字の原型となった甲骨文字や、高度な技術で作られた青銅器が特徴的です。
問4	答え 1 相沢忠洋が火山灰の地層から打製石器を発見し、更新世の日本列島に人が居住していたことが証明された。	岩宿遺跡の発見以前は、日本列島の歴史は縄文時代から始まると信じられていました。相沢忠洋が関東ローム層という更新世（氷河時代）に堆積した地層から打製石器を見つけたことで、土器出現前の古い時代に人類が活動していた証拠となりました。他の選択肢にある水田は弥生時代、金印や埴輪はそれ以降の時代の特徴です。
問5	答え 1 殷の時代には、亀の甲羅や動物の骨に刻まれた甲骨文字が使われていた。	紀元前16世紀頃に興った殷（商）では、占いの結果などを記録するために、亀の甲羅や牛の骨に文字を刻みました。これが漢字の原型とされる甲骨文字です。シルクロードの開通や仏教の伝来は漢の時代の出来事であり、度量衡の統一や万里の長城の整備は秦の時代の政策です。
問6	答え 1 スペインがこの地域を植民地として支配し、自国の言語や宗教を広めたため	15世紀末から始まる大航海時代、スペインは金や銀などの資源や領土を求めてアメリカ大陸へ進出しました。特に南アメリカ大陸の太平洋側に位置する地域（現在のペルーやチリなど）を広範囲にわたって植民地として支配したため、支配国であるスペインの言語やキリスト教（カトリック）が定着し、現在まで続く文化的な基盤となりました。
問7	答え 1 北方の遊牧民族の侵入を防ぎ、国内の安定を図るため	当時の中国にとって、北方から機動力を活かして攻め込んでくる遊牧民（匈奴）の存在は大きな脅威でした。始皇帝は中国全土を統一した後、国家の安全保障のために大規模な土木工事を行い、これら遊牧民の侵入を阻止するための防壁を築きました。これが万里の長城の起源であり、その後の王朝でも修復や改修が繰り返されました。
問8	答え 1 国家の規模が小さく、市民が特定の場所に集まって直接議論することが可能だった	古代ギリシャのポリス（都市国家）は、現代の国家に比べて人口や面積の規模が非常に小さかったため、市民が一堂に会して直接議論する「直接民主政」が可能でした。現代の国家では規模が大きすぎるため、代表者を選ぶ「間接民主政（議会制民主主義）」が一般的ですが、アテネでは市民が自ら国政に携わる形態がとられていました。